

平成 30 年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

## I. 平成30年度 事業計画の概要

たましん地域文化財団は、多摩地域で暮らす人々に美術や歴史に親しんでもらうこと、そして制作や研究をする方々の応援することを使命と考えています。平成28年度に地域文化に対する「更なる貢献」のための「中期3ヵ年計画」を策定し、平成29年度はそのスタートの年として事業を実施いたしました。平成30年度は2年目であり、目標に向けて更に踏み込んだ事業展開を行うとともに、私たちを取巻く環境の変化に対しても留意をした事業計画としました。

公1(美術館・ギャラリーの運営事業)では、例年通りたましん歴史・美術館、御岳美術館で展覧会を開催しますが、地域の皆様や子どもたちにもっと美術に親しんでいただけるようにこれまでも増して内容の充実を図ります。また職員のフットワークを良くし、地域の美術に関わる組織・団体や教育関係者等との交流・連携をより強いものとするを旨とします。

公2(『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業)では、これまで「限定的であった情報」を広く伝えることが必要であると考え、それを加味した事業展開を行います。『多摩のあゆみ』では昨年度開催した歴史講座や展覧会を特集し、多くの人にその内容を知っていただくこと、またデジタル化の領域を広げ財団所蔵資料の公開を進めます。

超高齢社会の中で文化・芸術に対するニーズは一層強くなることが想定され、当財団の事業もそこに目を向けた事業展開を行う必要があります。中期計画の遂行に新たな要素を加えながら事業の公益性を高め、多摩地域の文化・芸術の発展に貢献することに努めてまいります。

## II. 公益目的事業

当財団の公益目的事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公1. 美術館・ギャラリーの運営事業(以下「美術」という。)

公2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(以下「歴史」という。)

### 1. 美術 (公1)

#### (1) 企画展覧会の開催

##### ① たましん歴史・美術館

平成30年度は、4会期の美術展を開催します。

1) 「99歳の彫刻家・関頑亭 一声字実相義 耳で見つめ、目で聴くー」

3月27日(火)～7月1日(日) 開館期間 84日

2) 「おばけ美術館」

7月17日(火)～9月9日(日) 開館期間 47日

3) 「東洋古陶磁展 造形と意匠ー(仮)【併設】たましんコレクション絵画展 ～描かれた模様～」

9月25日(火)～12月9日(日) 開館期間 64日

4) 「所蔵資料公開【I】 倉田三郎の美術」(仮)

平成31年1月8日(火)～3月10日(日) 開館期間 54日

## ② 御岳美術館

<前期> 「儂さと美～絵のなかの花と女」(仮)

「倉田三郎記念室 旅の素描－北歐－」 6月5日(火)～8月26日(日) 開館期間 72日

<後期> 「日本近代絵画における画家と弟子たち」(仮)

「倉田三郎記念室 旅の素描－オランダ－」

9月4日(火)～12月16日(日) 開館期間 90日

※冬季休館:平成31年1月8日(火)～2月18日(月)

## (2) たましんギャラリー

### ① たましんギャラリーの運営

多摩地域で活動している作家やグループに展覧会場として、無償で提供しており、平成30年度は23会期の展示を予定しています。

1. 浜田澄子展	4月5日(木)～4月17日(火)
2. 大浦雅臣展	5月10日(木)～5月22日(火)
3. 斎藤鐵心展	5月24日(木)～6月5日(火)
4. 大塩英生展	6月7日(木)～6月19日(火)
5. 飯田秀夫展	6月21日(木)～7月3日(火)
6. 村山之都展	7月5日(木)～7月17日(火)
7. 東京展 多摩地区展	7月19日(木)～7月31日(火)
8. 工藤眞詞展	8月2日(木)～8月14日(火)
9. 女子美術大学 日本画卒業生展	8月16日(木)～8月28日(火)
10. 武井地子展	8月30日(木)～9月11日(火)
11. 大友洋司展	9月13日(木)～9月25日(火)
12. 吉田ももこ展	9月27日(木)～10月9日(火)
13. 増田常德展	10月11日(木)～10月23日(火)
14. 海野次郎展	10月25日(木)～11月6日(火)
15. 原田武眞展	11月8日(木)～11月20日(火)
16. (調整中)	11月22日(木)～12月4日(火)
17. 平野健太郎展	12月6日(木)～12月18日(火)
18. 村田幹男展	平成31年1月10日(木)～1月22日(火)
19. 野上邦彦展	1月24日(木)～2月5日(火)
20. (調整中)	2月7日(木)～2月19日(火)
21. 石田貞雄展	2月21日(木)～3月5日(火)
22. (調整中)	3月7日(木)～3月19日(火)
23. 佐藤里香展	3月21日(木)～4月2日(火)

## ② たましんギャラリー利用者の多様化策

### 1) 若手作家の招致

若手作家の発掘や企画内容の検討を行う中で、今年度は以下の作家にギャラリーをご利用いただきます。

- ・大浦雅臣(40歳) ビエンナーレ OME2017 入選
- ・武井地子(41歳) ビエンナーレ OME2017 入選

### 2) 多摩にある美術大学との連携

多摩地域にある美術大学(武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学)へのアプローチをする中で、大学よりご推薦いただいた作家の方々にギャラリーをご利用いただきます。

- ・村山之都(48歳) 武蔵野美術大学洋画研究室推薦
- ・吉田ももこ(28歳) 武蔵野美術大学洋画研究室推薦
- ・女子美術大学日本画教室助手・卒業生グループ展 女子美術大学日本画研究室推薦

継続的に各美術大学との交流を行い、将来有望な若手作家や美術大学の卒業展等へ、ギャラリー利用の促進を図ります。

## (3) 広報・普及活動

### 1) 展覧会内容に応じた広報活動の実施

- ・「関頑亭展」 通常先への広報物発送に加え、子ども向けギャラリートーク開催の広報も行います。
- ・「おぼけ美術館」 子ども向け展覧会であり、従来通りの多摩地域 30 市町村の小中学校への広報活動を行います。加えて、新たに未就学児(親子)対象のギャラリートークを企画しており、国立市内の幼稚園、保育園の広報活動も実施します。
- ・「東洋古陶磁展」 都内、他府県の陶芸専門美術館・ギャラリーに案内を送付します。
- ・「倉田三郎展」 多摩地域の文化施設や教育機関等に重点的に広報します。

### 2) 広報手段の拡充

来館促進を図るため、従来のポスター・案内はがき・チラシの送付、当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開のほか、ケーブルテレビや地域誌などの地域向けメディアへのアプローチやSNS等の活用を行います。

### 3) 配布先拡大と効果の検証

1)に記載の通り、ポスター・案内はがき・チラシの送付先は一律とはせず、展覧会の企画内容に応じて変動させます。またその効果の検証を行い、随時改善を図ります。

#### (4) 調査・研究

##### 1) 展覧会開催による多摩地域の作家紹介

作家研究をベースとした展覧会の開催としては、29年度の「小貫政之助」に続き、今年度は国立の作家で当財団とも縁の深い「関頑亭」についての企画展を開催します。また「倉田三郎」については資料公開の場として展覧会を開催します。

平成31年度には「佐藤多持展」の開催を予定しており、今年度も調査・研究を継続します。

##### 2) 作家研究・データベース構築

継続して所蔵作品や資料の調査、作家研究を行い、多摩で活躍してきた作家の資料や活動履歴等をデータベースとして構築して、将来の情報発信や展覧会開催のための基礎データとして活用します。

##### 3) 作品・資料の収集

多摩地域の重要な作家の作品・資料、多摩地域の美術に関する図書等を引続き収集します。

##### 4) 作品の修復及び額新装

展覧会での展示にあわせ作品のマット新装、額新装を行うほか、劣化作品については専門業者による画面修復を行います。

#### (5) 美術講座

##### ① たましん歴史・美術館

たましん歴史・美術館では各展覧会期間中にギャラリートークを開催します。

##### 1) 「99歳の彫刻家・関頑亭 一声字実相義 耳で見つめ、目で聴くー」

4月13日(金)・5月18日(金) 対象:一般

4月21日(土)・6月2日(土) 対象:小学3年生以上

##### 2) 「おばけ美術館」

7月21日(土) 対象:未就学児

7月28日(土) 対象:小学1~3年生

8月4日(土) 対象:小学4~6年生

8月25日(土) 対象:中学生

##### 3) 「東洋古陶磁展」

11月9日(金)

##### 4) 「所蔵資料公開【I】 倉田三郎の美術」 平成31年 1月25日(金)

## ② 御岳美術館

### 1) スケッチ講座

御岳美術館では年3回(各回2日間)「スケッチの日」として、スケッチ体験講座を行います。参加費は無料で、当財団学芸員がワンポイント・アドバイスも行います。

第1回	4月10日(火)・11日(水)	<桜の日>
第2回	8月21日(火)・22日(水)	<倉田三郎生誕記念日>
第3回	11月2日(金)・3日(土・祝)	<御岳美術館開館記念日>

## (6) 地域との連携・交流

### ① 美術講演会

くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的とし、今年度は「伊藤若冲」についての2回講座を予定しています。

講師	斎藤陽一氏 (元NHK「日曜美術館」プロデューサー、嘉悦大学客員教授)
会場	くにたち市民芸術小ホール
募集人員	毎回70名(延べ140名)
受講料	無料

### ② 地域連携企画

#### 1) 展覧会事業における連携の準備

次年度に予定している「生誕100年 佐藤多持展」の展覧会内容の充実を図るため、近隣のギャラリー、国立市、立川市、青梅市の関連機関との連携会議・情報交換等を行います。

#### 2) 地域との連携強化

地域の美術館、美術大学等との人的交流を図ることから、将来的な連携企画等へと繋げて行きます。今年度は、各美術館学芸員との交流や、地域でのアートイベントへの参加、各美術大学への定期的訪問による教授陣との情報交換等を積極的に行います。

### ③ 学校との連携

美術館等での教育普及に関する研究会、多摩地域で行なわれる小中学校の美術教師の研究会等に参加し、情報交換を行うことにより自館の教育普及活動の内容を深めるとともに、地域内の教育現場へのフィードバック策を検討します。

## (7) その他の活動

### ① 資料保存環境の整備

前年度より継続して、展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、文化財 IPM (総合的有害生物管理)による定期的な害虫測定を行います。また、資料保存備品を整え、資料を適切な環境で保存します。

### ② 所蔵作品のフィルムデータの整備

所蔵作品に関する「ポジフィルム」の整備を実施し、次年度に予定している展覧会の図録作成、所蔵品目録の作成、所蔵品のデジタルアーカイブ化の準備をします。

## (8) 新美術館設置への対応

多摩信用金庫の新店建設(2020 年竣工予定)に伴い開設が予定されている「たましん美術館(仮称)」の設計・企画等について、多摩信用金庫および(株)乃村工藝社に協力し、対応します。

## 2. 歴史 (公2)

### (1) 『多摩のあゆみ』の刊行

下記に示す通り、各号ごとに特集テーマを定め、各分野にわたり地域の研究者による調査・研究の成果を掲載します。

今年度は新しい取組みとして前年度に開催した「歴史講座」および「武蔵野文化協会創立 100 周年記念展覧会」を特集として取上げ、その内容を広く情報として提供します。

170 号 「“武蔵野”研究 100 年」(仮題)(武蔵野文化協会創立 100 周年記念展)	5 月 15 日発行
171 号 「多摩の山」(仮題)	8 月 15 日発行
172 号 「武蔵武士団の盛衰」(仮題)(平成 29 年度歴史講座)	11 月 15 日発行
173 号 「多摩の団地」(仮題)	平成 31 年 2 月 15 日発行

各号 14,000 部を発行し、歴史資料室・財団の各施設、たましん本支店で配布するほか、郵送希望者には定期送付します。

また、多摩地域 30 市町村の公立図書館・博物館等に贈呈しており、これらの機関でも閲覧できるようにしています。

### (2) 歴史資料室の運営

#### 1) 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。

## 2) 国土地理院発行の多色刷地形図の収集

平成 29 年度から一般財団法人日本地図センターのWebサイトを通じて、国土地理院が発行した旧版地形図の多色刷を購入しています。明治期から平成期にかけての 2 万 5 千分 1 地形図をはじめ、1 万分 1 地形図と 5 万分 1 地形図、合計 175 点を 3 ヶ年計画で収集します。2 年目の平成 30 年度は、青梅以西の西多摩地域の 2 万 5 千分 1 地形図 41 点、多摩全域をカバーする 5 万分 1 地形図 25 点、計 66 点を購入します。

## (3) 多摩の歴史講座

(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5 回の連続講座を実施します。今年度で 22 回目を迎え、テーマとして「多摩の民俗芸能にふれる」を予定しています。

会場は昨年同様多摩信用金庫府中支店4階会議室を借用し、110 名を募集します。受講料は無料です。

## (4) 地域とのネットワーク強化

昨年度から継続して東京都立多摩図書館との連携を深め、市史編さん等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化します。

## (5) 「多摩の金融史」関係資料の整理

昨年度 5 月発行の『多摩のあゆみ』(166 号)から「多摩の金融史」の連載がスタートしており、計 4 回の論考掲載がされました。今後の資料として重要な多摩信用金庫(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の資料整理を、多摩金融史研究会の協力を得て実施します。

## (6) 広報・普及活動

### ① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり 39～自治調査会だより～』に告知します。

刊行図書や当財団所蔵の「伊与田昌男写真コレクション」の一部は三多摩公立博物館協議会のホームページで公開します。

### ② 『歴史資料室所蔵資料』のデジタルアーカイブ化

昨年度の『多摩のあゆみ』バックナンバー(創刊号～第 100 号)のデジタルアーカイブ化に引き続き、歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化を開始します。ADEAC(株)のデジタルアーカイブシステムに全国 67 機関(図書館・博物館など)とともに公開して、誰でも閲覧できるようにします。

### Ⅲ. 収益事業

#### 1. 物品販売事業及び喫茶事業（収1）

##### (1) 物品販売事業

たましん歴史・美術館ではオリジナルの絵はがきを販売します。

また、御岳美術館では、絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等各種土産品の委託販売を行います。

##### (2) 喫茶事業

御岳美術館で、来館者にコーヒー、紅茶、ジュース等飲み物を 300 円で提供します。

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款第4条第1項第1号、第2号、第4号、第5号、第7号)

(予算額 8,696 千円)

(1) 企画展覧会

① たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数		
1	99歳の彫刻家・関頑亭 －声字実相義 耳で見つめ、目で聴く－	自主	3月27日(火)～ 7月1日(日)	84日	国立の99歳の彫刻家・関頑亭が生み出してきた彫刻、絵画、書といった数々の作品とともに、多彩な人々との交流を示す品々をエピソードを添えて紹介することで、関頑亭の生き方そのものに迫る展覧会を開催します。 作家ほか国立市内及び多摩地域の関係先より作品を借用します。 協力：明王山宝仙寺 / 株式会社せきや / 株式会社サトウ / 画廊『岳』 後援：国立市 / 国立市教育委員会	4,501
2	おばけ美術館		7月17日(火)～ 9月9日(日)	47日	多く子どもたちに実物の美術作品に親しんでもらう機会として、夏休み期間に子どもを対象とした展覧会を開催します。 「おばけってなんだろう？怖いという気持ちはどこから来るの？」「おばけをみつけてみよう！？怖いをみつけよう！」「おばけをそうぞうしてみよう！」など、おばけをテーマに、絵画や版画、彫刻、古陶磁などのたましんコレクションに親しみます。 子ども向けですが大人も楽しむことができます。	
3	東洋古陶磁展 －造形と意匠－(仮) 【併設】たましんコレクション絵画展 ～描かれた模様～		9月25日(火)～ 12月9日(日)	64日	東洋古陶磁の魅力を紹介するため、造形(かたち)と意匠(模様)をテーマとして展示します。 たましんコレクションから、日本・中国・朝鮮、三国のやきものについて、国ごとに相異点や共通点をパネルで解説し、文化・生活によって育まれたやきもの多様性をご紹介します。 また、たましんコレクションから、模様が描かれた絵画を併設展示します。	
4	所蔵資料公開【1】 倉田三郎の美術(仮)		平成31年 1月8日(火)～ 3月10日(日)	54日	制作活動や教育普及など、多摩地域に多くの足跡を残した倉田三郎について、所蔵作品を中心にご紹介します。 自筆原稿や手紙、素描、作品の下絵等から、多彩な交流関係、作品制作の過程を紐解きます。 また、油彩作品、関連する作家の作品を展示するほか、「旅の素描」シリーズのスケッチについても併設展示します。	

② 御岳美術館

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数		
1	<前期> 儂さと美～絵のなかの花と女(仮) 倉田三郎記念室 旅の素描－北欧－	自主	6月5日(火)～ 8月26日(日)	72日	たましんコレクションから、明治期から昭和期にかけての近代日本の洋画作品を展示します。 倉田三郎記念室では、旅先のスケッチから、前期は北欧、後期はオランダの風景を展示します。 常設展示では、新宿中村屋にゆかりのあった作家の彫刻・絵画作品を展示します。	1,494
2	<後期> 日本近代絵画における画家と弟子たち(仮) 倉田三郎記念室 旅の素描－オランダ－		9月4日(火)～ 12月16日(日) ※冬季休館: 平成31年1月8日(火)～ 2月18日(月)			

(2) たましんギャラリー

① たましんギャラリーの運営

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	展覧会の開催	自主	通年 土・日・祝日開廊 23会期	多摩地域で活動している作家やグループに展覧会場として、無償で提供します。 今年度は23会期の展示を予定しています。	

② たましんギャラリー利用者の多様化策

1	若手作家の招致	自主	通年	若手作家の発掘や企画内容の検討を行う中で、今年度は青梅ピエンナーレ入選等の実績のある若手作家(大浦雅臣氏、武井地子氏)にご利用いただきます。	1,763
2	多摩にある美術大学との連携			多摩地域にある美術大学(武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学)へのアプローチをする中で、たましんギャラリーをご利用いただく若手作家を招致します。 今年度は、武蔵野美術大学研究室推薦の作家(村山之都氏、吉田ももこ氏)および女子美術大学日本画研究室推薦の作家や卒業生によるグループにたましんギャラリーをご利用いただきます。 継続的に各美術大学との交流を行い、将来有望な若手作家や美術大学卒業生等へ、ギャラリー利用の促進を図ります。	

## (3) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	展覧会内容に応じた広報活動の実施	自主	通年	「関頑亭」展では、通常の周知活動に加え、国立市内の小中学校に向けても、郷土作家に親しむ機会を提供するため、展覧会及び子ども対象のギャラリートークの周知を行います。 子ども対象の展覧会「おぼけ美術館」展では、多摩地域30市町村の小中学校のほか、新企画の未就学児(親子)対象のギャラリートークを開催することから、国立市内の幼稚園、保育園へも併せて広報活動を行います。 「東洋古陶磁展」では都内・全国の陶芸専門美術館及びギャラリーに案内を配付し、周知を行います。 「倉田三郎展」では、多摩地域の文化施設や教育機関等に重点的に広報活動を行います。	398
2	広報手段の拡充			各展覧会への来館促進を図るため、従来のポスター・案内はがき・チラシの送付、財団及び美術館案内等ホームページに展覧会情報を公開するほか、地域向けメディアへの積極的アプローチや未利用の情報掲載可能なホームページ、SNS等の活用を行います。	
3	配布先拡大と効果の検証			ポスター・案内はがき・チラシの送付先を一律とはせず、展覧会の企画内容に応じて更新し、また効果の検証を行い、逐次改善を図ります。	

## (4) 調査・研究

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	展覧会開催による多摩地域の作家紹介	自主	通年	作家研究を基礎とした展覧会の開催として、今年度は、郷土作家であり、当財団とも縁の深い「関頑亭」についての企画展を開催します。 また、「倉田三郎」についても、資料を公開する場として展覧会を実施します。 次年度の「佐藤多持」展の展覧会を企画し、開催の準備を進めます。	300
2	作家研究・データベース構築			継続して所蔵作品や資料を調査、作家研究を行い、多摩で活躍してきた作家の資料や活動履歴等をデータベースとして構築し、将来の情報発信の基礎づくりや展覧会開催につなげます。	
3	作品・資料の収集			多摩地域の重要な作家の作品について収集し、体系的なコレクションの形成を図ります。また、多摩地域の美術に関する図書及び美術資料、作家に関連する資料を継続的に収集します。	
4	作品の修復及び額新装			作品の適切な保存管理を行うため、展覧会にあわせ作品のマット新装、額新装を行います。 また、劣化が認められ展示に支障のある作品は専門業者による修復を行います。	

## (5) 美術講座

## ① たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	99歳の彫刻家・関頑亭 -声字実相義 耳で見つめ、目で聴く- ギャラリートーク	自主	4月13日(金) 4月21日(土)※小学3年生以上対象 5月18日(金) 6月2日(土)※小学3年生以上対象	企画展にあわせてギャラリートークを行います。 郷土作家について親しむ機会とするため、子ども対象のギャラリートークも行います。	140
2	おぼけ美術館 ギャラリートーク		7月21日(土)※未就学児対象 7月28日(土)※小学生1~3年生対象 8月4日(土)※小学生4~6年生対象 8月25日(土)※中学生対象	企画展にあわせて、子ども対象、及び未就学児対象(親子対象)のギャラリートークを行います。	
3	東洋古陶磁展 ギャラリートーク		11月9日(金)	企画展にあわせてギャラリートークを行います。	
4	所蔵資料公開【1】 倉田三郎の美術(仮) ギャラリートーク		平成31年1月25日(金)	企画展にあわせてギャラリートークを行います。	

## ② 御岳美術館

1	スケッチ講座	自主	<桜の日> 4月10日(火)・11日(水) <倉田三郎生誕記念日> 8月21日(火)・22日(水) <御岳美術館開館記念日> 11月2日(金)・3日(土・祝)	「スケッチの日」として、御岳美術館で年間3回(各回2日間)のスケッチ体験講座を行います。 参加費は無料で、当財団の学芸員がワンポイントアドバイスも行います。 毎回30名の参加を予定しています。	
---	--------	----	--	--	--

## (6) 地域との連携・交流

## ① 美術講演会

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	美術講演会	共催	9月15日(土)・23日(日・祝) 全2回	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。 地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的とし、「伊藤若冲」についての全2回講座を予定しています。 講師 : 齋藤陽一氏 (元NHK「日曜美術館」プロデューサー、嘉悦大学客員教授) 会場 : くにたち市民芸術小ホール 募集人員 : 毎回70名(延べ140名) 受講料 : 無料	100

② 地域連携企画

計画事業 通し番号	計 画			計 画
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	展覧会事業における連携の準備	自主	通年	次年度に予定している「生誕100年 佐藤多持展」の展覧会内容の充実を図るため、近隣のギャラリー、国立市、立川市、青梅市の関連機関との連携会議・情報交換等を行います。
2	地域との連携強化			地域の美術館や美術大学、作家との人的交流を図ることから、将来的な連携企画等へと繋げて行きます。今年度は、各美術館学芸員との交流や、研究会、地域でのアートイベントへの参加、各美術大学への定期的訪問による教授陣との情報交換等を積極的に行います。

③ 教育機関

1	学校との連携	自主	通年	多摩地域、都内、近郊の美術館等での教育普及に関する研究会、及び国立市内の小中学校の図工研究会や多摩地区美術研究会へ参加し、情報交換し自館の教育普及活動の内容を深め、将来の教育普及事業の内容の充実を図る基礎づくりを行います。
---	--------	----	----	---

(7) その他の活動

計画事業 通し番号	計 画			計 画
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	資料保存環境の整備	自主	通年	前年度より継続して、展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、文化財IPM(総合的有害生物管理)による定期的な害虫測定を行います。また、資料保存備品を整え、資料を適切な環境で保存します。
2	ポジフィルムのデータ化			次年度に予定している展覧会の図録作成、所蔵品目録の作成、所蔵品のデジタルアーカイブ化に向けた準備を行います。

(8) 新美術館設置への対応

1	新美術館設置への対応	自主	通年	多摩信用金庫の新店建設に伴い開設が予定されている「たましん美術館(仮称)」の設計・企画等について、多摩信用金庫および(株)乃村工藝社に協力し、対応します。
---	------------	----	----	---

2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款第4条第1項第2号、第3号、第4号、第8号)

(予算額 13,620 千円)

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	170号 「“武蔵野”研究100年」(仮題)	自主	5月	平成29年11～12月、武蔵野会・武蔵野文化協会の創立100周年記念展が、たましん歴史・美術館で開催されました。 本号は記念展の展示内容をふまえて、“武蔵野”研究100年のあゆみを紹介します。	10,020
2	171号 「多摩の山」(仮題)		8月	特集「多摩の3億年」(本誌27号、1982年)以降、地質図の編纂などが進み、多摩の山地のなりたちは日本列島の構造を解明する上でも注目を浴びています。 多摩の山の地形や植生、生活との関わりについて、自然発達史を踏まえつつ紹介します。	
3	172号 「武蔵武士団の盛衰」(仮題)		11月	平安時代後期から鎌倉時代・室町時代にかけて活躍した武蔵国各地の同族的集団である武蔵武士団の盛衰を、考古学や板碑研究も交えて紹介します。 本号は、平成29年度の歴史講座をもとに構成するものです。	
4	173号 「多摩の団地」(仮題)		平成31年2月	昭和30年代に建設の始まった団地は、50年を過ぎて建て替えが進み、生活様式の変化が見られます。UR都市機構集合住宅研究所、小平市史、多摩ニュータウンの研究などから、各地の団地での暮らしの変化、生活改善に向けた学びなどを紹介します。	

(2) 歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。 それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料ごあんない」欄に書誌情報を掲載します。 また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	2,115
2	国土地理院発行の多色刷地形図の収集			近年、一般財団法人日本地図センターのWebサイトが充実し、国土地理院が発行した旧版地形図の多色刷を購入できるようになりました。 明治期から平成期にかけての2万5千分1地形図をはじめ、1万分1地形図と5万分1地形図、合計175点を3ヶ年計画で収集します。 2年目の平成30年度は、青梅以西の西多摩地域の2万5千分1地形図41点、多摩全域をカバーする5万分1地形図25点、計66点を購入します。	

## (3) 多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月 (予定)	(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。 今年度で22回目を迎え、テーマとして「多摩の民俗芸能にふれる」を予定しています。 会場：多摩信用金庫府中支店 4階会議室 定員：110名 受講料：無料	485

## (4) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			計 画
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	昨年度から継続して東京都立多摩図書館との連携を深め、市史編さん等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化します。

## (5) 「多摩の金融史」関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画			計 画
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	共催	通年	昨年度、『多摩のあゆみ』に「多摩の金融史」の連載がスタートして、4回分の論考が掲載されました。これを機会に、多摩金融史研究会の活動の一環として、メンバーである当財団と多摩信用金庫とが協働し、多摩信用金庫(旧多摩中央信用金庫、旧太平洋信用金庫、旧八王子信用金庫)の資料を整理します。

## (6) 広報・普及活動

## ① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	広報・普及活動	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。 「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』で告知します。 刊行図書や当財団所蔵の「伊与田昌男写真コレクション」の一部は、三多摩公立博物館協議会のホームページで公開します。	200

## ② 『歴史資料室所蔵資料』のデジタルアーカイブ化

1	歴史資料室所蔵資料の デジタルアーカイブ化	自主	通年	昨年度の『多摩のあゆみ』バックナンバー(創刊号～第100号)のデジタルアーカイブ化に引き続き、歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化を開始します。 ADEAC(株)のデジタルアーカイブシステムに全国67機関(図書館・博物館など)とともに公開して、どなたでも閲覧できるようにします。	800
---	--------------------------	----	----	--	-----

収益事業

1. 物品販売事業及び喫茶事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(予算額 150 千円)

(1) 物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	物品販売事業	自主	通年	たましん歴史・美術館で、オリジナルの絵はがきを販売します。 御岳美術館では、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種お土産品の委託販売を行います。	120

(2) 喫茶事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	喫茶事業	自主	通年	御岳美術館で、来館者にコーヒー、紅茶、ジュース等飲み物を300円で提供します。	30

## IV. 管理

### 1. 役員及び役員会等に関する事業(定款第4条第9号)

#### (1) 理事、監事及び評議員の任期

- ① 評議員 平成28年6月17日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ② 理事 平成28年6月17日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ③ 監事 平成28年6月17日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

#### (2) 理事会等の開催

- ① 理事会 年3回
- ② 評議員会 年2回
- ③ 決算監査 年1回

平成30年度

収支予算書

公益財団法人たましん地域文化財団

平成30年度収支予算書(正味財産増減ベース)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

(単位:円)

科 目	平成30年度 予算額(イ)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業等会計		法人会計	平成29年度 予算額(ロ)	増減 (イ)-(ロ)
		公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	1,140,000	0	0	1,140,000	1,140,000	0	0	0	1,240,000	△ 100,000
基本財産運用益	1,140,000			1,140,000	1,140,000		0		1,240,000	△ 100,000
特定資産運用益	10,000	0	0	10,000	10,000	0	0	0	10,000	0
特定資産運用益	10,000			10,000	10,000		0		10,000	0
固定資産受贈益	425,000	400,000	0	0	400,000	25,000	25,000	0	480,000	△ 55,000
固定資産受贈益	425,000	400,000			400,000	25,000	25,000		480,000	△ 55,000
事業収益	1,930,000	1,430,000	50,000	0	1,480,000	450,000	450,000	0	1,930,000	0
入館料収益	1,400,000	1,400,000			1,400,000		0		1,400,000	0
図録販売収益	30,000	30,000			30,000		0		30,000	0
出版事業収益	50,000		50,000		50,000		0		50,000	0
喫茶事業収益	100,000				0	100,000	100,000		100,000	0
物品販売収益	350,000				0	350,000	350,000		350,000	0
受取寄付金	60,000,000	0	0	57,500,000	57,500,000	0	0	2,500,000	60,000,000	0
受取寄付金	60,000,000			57,500,000	57,500,000		0	2,500,000	60,000,000	0
雑収益	40,000	0	0	40,000	40,000	0	0	0	40,000	0
雑収益	40,000			40,000	40,000		0		40,000	0
経常収益計(A)	63,545,000	1,830,000	50,000	58,690,000	60,570,000	475,000	475,000	2,500,000	63,700,000	△ 155,000
(2) 経常費用										
事業費/管理費(法人会計)	64,685,000	32,530,000	28,055,000	0	60,585,000	405,000	405,000	3,695,000	63,540,000	1,145,000
売上原価	80,000	5,000	45,000	0	50,000	30,000	30,000	0	80,000	0
役員報酬	450,000	0	0	0	0	0	0	450,000	550,000	△ 100,000
給料手当	16,850,000	7,410,000	8,960,000	0	16,370,000	0	0	480,000	16,070,000	780,000
臨時雇賃金	8,150,000	6,350,000	1,700,000	0	8,050,000	100,000	100,000	0	7,620,000	530,000
賞与引当金繰入	1,050,000	600,000	450,000	0	1,050,000	0	0	0	980,000	70,000
退職給付費用	490,000	200,000	290,000	0	490,000	0	0	0	340,000	150,000
法定福利費	2,900,000	1,240,000	1,600,000	0	2,840,000	0	0	60,000	3,010,000	△ 110,000
福利厚生費	400,000	170,000	130,000	0	300,000	0	0	100,000	490,000	△ 90,000
旅費交通費	1,285,000	865,000	320,000	0	1,185,000	0	0	100,000	1,190,000	95,000
通信運搬費	2,400,000	910,000	1,230,000	0	2,140,000	10,000	10,000	250,000	2,320,000	80,000
減価償却費	785,000	610,000	100,000	0	710,000	25,000	25,000	50,000	1,110,000	△ 325,000
消耗什器備品費	865,000	480,000	285,000	0	765,000	0	0	100,000	350,000	515,000
消耗品費	1,040,000	430,000	390,000	0	820,000	10,000	10,000	210,000	1,040,000	0
修繕費	125,000	90,000	20,000	0	110,000	0	0	15,000	100,000	25,000
印刷製本費	9,750,000	1,720,000	8,000,000	0	9,720,000	0	0	30,000	10,110,000	△ 360,000
燃料費	80,000	30,000	30,000	0	60,000	0	0	20,000	50,000	30,000
光熱水料費	2,145,000	1,830,000	210,000	0	2,040,000	30,000	30,000	75,000	2,250,000	△ 105,000
賃借料	2,810,000	2,260,000	355,000	0	2,615,000	25,000	25,000	170,000	2,630,000	180,000
保険料	1,055,000	1,010,000	25,000	0	1,035,000	0	0	20,000	1,550,000	△ 495,000
諸謝金	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	0	0	0	870,000	130,000
保守管理費	1,860,000	1,550,000	210,000	0	1,760,000	25,000	25,000	75,000	1,860,000	0
会議費	625,000	100,000	125,000	0	225,000	0	0	400,000	450,000	175,000
支払負担金	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	200,000	△ 100,000
図書費	460,000	100,000	350,000	0	450,000	0	0	10,000	470,000	△ 10,000
委託費	6,610,000	4,250,000	1,990,000	0	6,240,000	0	0	370,000	6,360,000	250,000
研修費	80,000	30,000	20,000	0	50,000	0	0	30,000	180,000	△ 100,000
宣伝費	10,000	10,000	0	0	10,000	0	0	0	30,000	△ 20,000
仕入費	150,000	0	0	0	0	150,000	150,000	0	150,000	0
諸会費	730,000	160,000	200,000	0	360,000	0	0	370,000	730,000	0
交際費	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	250,000	△ 50,000
租税公課	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0
雑費	50,000	20,000	20,000	0	40,000	0	0	10,000	50,000	0
経常費用計(B)	64,685,000	32,530,000	28,055,000	0	60,585,000	405,000	405,000	3,695,000	63,540,000	1,145,000
当期経常増減の部(A)-(B)	△ 1,140,000	△ 30,700,000	△ 28,005,000	58,690,000	△ 15,000	70,000	70,000	△ 1,195,000	160,000	△ 1,300,000
2. 経常外増減の部	0									0
(1) 経常外収益	0									0
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0									0
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減の部(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	22,765	22,765	△ 22,765	△ 22,765	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,140,000	△ 30,700,000	△ 28,005,000	58,712,765	7,765	47,235	47,235	△ 1,195,000	160,000	△ 1,300,000
一般正味財産期首残高	50,767,266	△ 148,055,867	△ 176,439,597	363,118,430	38,622,966	2,161,286	2,161,286	9,983,014	50,205,269	561,997
一般正味財産期末残高(E)	49,627,266	△ 178,755,867	△ 204,444,597	421,831,195	38,630,731	2,208,521	2,208,521	8,788,014	50,365,269	△ 738,003
II 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額	△ 425,000	△ 400,000	0	0	△ 400,000	△ 25,000	△ 25,000	0	△ 480,000	55,000
当期指定正味財産増減額	△ 425,000	△ 400,000	0	0	△ 400,000	△ 25,000	△ 25,000	0	△ 480,000	55,000
指定正味財産期首残高	844,680,973	543,153,200	0	300,000,000	843,153,200	1,527,773	1,527,773	0	845,152,737	△ 471,764
指定正味財産期末残高(F)	844,255,973	542,753,200	0	300,000,000	842,753,200	1,502,773	1,502,773	0	844,672,737	△ 416,764
III 正味財産期末残高(E)+(F)	893,883,239	363,997,333	△ 204,444,597	721,831,195	881,383,931	3,711,294	3,711,294	8,788,014	895,038,006	△ 1,154,767

平成30年度

# 事業報告書

公益財団法人たましん地域文化財団

# 目 次

1. 事業の概要	1
2. 各種事業に関する報告	3
公益目的事業	3
1. 公1 美術館・ギャラリーの運営事業	3
(1) 企画展覧会の開催	3
① たましん歴史・美術館	3
② 御岳美術館	4
(2) たましんギャラリー	4
(3) 広報・普及活動	5
(4) 調査・研究	5
(5) 美術講座	6
(6) 地域との連携・交流	6
(7) その他の活動	7
(8) 新美術館設置への対応	7
2. 公2 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業	8
(1) 『多摩のあゆみ』の刊行	8
(2) 歴史資料室の運営	9
(3) 多摩の歴史講座	9
(4) 地域とのネットワーク強化	10
(5) 「多摩の金融史」関係資料の整理	10
(6) 広報・普及活動	10
収益事業	11
3. 収1 物品販売及び喫茶事業	11
(1) 物品販売事業	11
(2) 喫茶事業	11
3. 管理	12
役員等及び役員会等に関する事項	12
1. 評議員、理事及び監事の名簿	12
2. 評議員会、理事会に関する事項	14
4. 附属明細書	16
1. たましん歴史・美術館実績一覧	16
2. 御岳美術館実績一覧	17
3. たましんギャラリー展覧会名及び来場者数	18
4. 職員に関する事項	19

## 1. 事業の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、多摩で暮らす人々に美術・歴史を愉しんでもらい、かつその担い手（供給者）である作家・研究者を応援することを通じて地域文化の発展に貢献することを目的として事業を実施しています。

当財団は平成30年度も計画した事業を確実に実施してまいりましたが、その中でも「たましん歴史・美術館」は十数年ぶりに入館者数が1万人に迫り、また『多摩のあゆみ』のデジタルアーカイブ閲覧者数も増加傾向にあるなど、当財団の事業が徐々に地域に浸透してきていることを実感できた一年となりました。

また新たに「たましん美術館（仮称）」の開設準備を着々と進めており、次年度以降に向けて、着実に財団の基盤が強化されてきています。

### (1) 美術館・ギャラリーの運営事業（公1）

「たましん歴史・美術館」は例年通り、年度計画に沿って4会期の企画展を開催しました。今期の入館者数は9,681人、前年度比約2.5倍と非常に良好な結果となりました。個別に見ても、春季開催「99歳の彫刻家・関頑亭」は前年同時期比2.6倍、夏季開催「おばけ美術館」同2.9倍、秋季開催「東洋古陶磁展」同2.1倍、冬季開催「倉田三郎の美術」同2.1倍と入館者数は一年を通して倍増しました。この要因としては、企画内容が良質であったことや、ここ数年広報・普及について改善を図ったため、地域での認知度が高まり、皆さまに気軽に足を運んでいただけるようになったことがあげられます。

「御岳美術館」については、今期事業としては2会期（162日、前期・次期に跨った分を除く）開催し、入館者数は1,274人となりました。今期初めて入館者が激減する冬季の長期休館を実施しましたが、1日平均入館者数は7.9人（前年度同7.5人）とほぼ変わらず、低迷から脱することはできませんでした。

「たましんギャラリー」は、23会期（うち個人18会期、グループ4会期、作家辞退のためたましんコレクション展1会期）を開催し、6,059人の入館がありました。今年度は当ギャラリーを作家へ提供する最後の年となることから、若手や美術大学との連携だけでなく、過去にたましんギャラリーの利用実績がある著名な作家にもご利用いただきました。

地域との連携では、学校からの要望に応え、試みとして、当財団の学芸員が小学校に出向き授業の一環として作品鑑賞を行うアウトリーチに取組みました。国立市立国立第八小学校3・4年生4クラスがこの企画に参加いただき、生徒の皆さまには楽しく積極的に授業に取組んでいただきました。

また先にも述べた通り、今年度美術に関する広報・普及について改善に取り組んだことが結果となって表れてきました。一般紙、タウン誌、ケーブルテレビ等のマスコミとの繋がり強めることを積極的に行った結果、毎回取上げていただけるようになり、地域での認知度向上を図ることができました。

## (2) 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営（公2）

歴史事業の柱である『多摩のあゆみ』は、例年通り170号から173号まで4回発行しました。各号の特集では、170号「“武蔵野”研究一〇〇年」、171号「奥多摩の山々にみる地球史」、172号「武蔵武士団の盛衰」、173号「多摩の団地」を取上げました。170号と172号の特集は前年度実施の歴史講座等の内容を幅広く伝えることを目的とし、また171号・173号は歴史の新しい切り口として取り組んだものです。

（公財）東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業「多摩の歴史講座」は第22回となり、今年度は「多摩の民俗芸能にふれる」と題して、説経節、八王子車人形、獅子舞、地域歌舞伎等の実演を交えた5回講座でした。

『多摩のあゆみ』で連載2年目となった「多摩の金融史」については、執筆だけでなく、今後の研究を見据え旧多摩中央信用金庫の資料を保存している倉庫から多摩信用金庫武蔵野支店に移送し、整理作業を開始しました。

歴史資料室は今年度も図書・雑誌等の歴史資料1,021点を収集・整理したほか、デジタルアーカイブとして、新たに、所蔵の絵図・地図16点、チラシ23点、計39点を公開、閲覧に供しています。そのほか、計画にあった「国土地理院発行の多色刷地形図」の購入や、地域とのネットワーク強化の一環としての国文学研究資料館、東京都立多摩図書館、各市市史編纂作業への参加等、地域とのネットワーク強化には今年度も積極的に取り組みました。

## (3) その他

多摩信用金庫新本店・本部棟に開設される「たましん美術館（仮称）」については、その企画・運営については当財団が行う方向で準備を進めています。

一方、御岳美術館・たましんギャラリーについては閉館・閉廊への対応を開始しています。

2. 各種事業に関する報告

公益目的事業

1. 公1 美術館・ギャラリーの運営事業

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(1) 企画展覧会の開催

① たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計画項目			報 告	入館料収入 (円)	入館者数(人) (有料入館者)
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明		
1	99歳の彫刻家・関頑亭 —声字実相義 耳で見つめ、目で聴く—	自主	3月27日(火)～ 7月1日(日)	国立の郷土作家であり彫刻家の関頑亭(1919-)の最初期からの彫刻、絵画、書などの作品や資料とともに、多彩な人々との交友資料も交えた全8章73点より、関頑亭の業と人生を紹介する展覧会を開催しました。開催にあたり、作家本人ほか国立市内及び多摩地域等の関係先9件より66点の作品や資料を借用しました。	571,800	3,094 (1,906)
2	おばけ美術館	自主	7月17日(火)～ 9月9日(日)	おばけを切り口に、絵画や彫刻、工芸など28作品を楽しむ内容で、子どもたちが能動的に作品を鑑賞できるように、全ての展示作品に問いかけを設け、作品の解説展示も行いました。また、対象別のギャラリートークの開催や4種類のワークシート(未就学児、小学1～3年生、小学4～6年生、中学生以上)を配布し、より作品に親しんでいただける機会としました。さらに、ギャラリートークで行った内容を、他の来館者と共有していただくように、会期中成果物(鑑賞カード)を展示室内に掲示しました。	224,500	4,021 (2,245)
3	東洋古陶磁展—造形と意匠— 【併設】たましんコレクション絵画展 ～描かれた模様～	自主	9月25日(火)～ 12月9日(日)	東洋古陶磁の魅力を紹介するため、造形(かたち)と意匠(模様)をテーマとして展示しました。たましんコレクションから、日本・中国・朝鮮、三国のやきものについて、文様や、かたちの成り立ち・歴史についてパネルで解説し、やきものについて知識を深める機会としました。また、たましんコレクションから、模様が描かれた絵画を併設展示し、陶磁器とあわせてお楽しみいただきました。	81,600	1,066 (816)
4	所蔵資料公開【I】 倉田三郎の美術	自主	平成31年 1月8日(火)～ 3月10日(日)	制作活動や教育普及など、多摩地域に多くの足跡を残した倉田三郎(1902-1992)について、公開する機会の少ない関係資料を中心に、「多摩地域を描く」「世界各地を描く」「春陽会について」「絵画構図の研究」「著作と自筆原稿」「多彩な交流関係」の6つのテーマに分け、紹介しました。自筆原稿や手紙、素描、作品の下絵等から、作品制作の過程を紐解くほか、多彩な交流関係等を広く公開する機会としました。	122,400	1,500 (1,224)
合計					1,000,300	9,681 (6,191)

② 御岳美術館

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	入館料収入 (円)	入館者数(人) (有料入館者)
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明		
1	【平成30年度 前期】たましんコレクションより 儂さと美～絵のなかの花と女 倉田三郎記念室 旅の素描－北欧－	自主	6月5日(火)～ 8月26日(日)	たましんコレクションから、「儂さと美～絵のなかの花と女」と題し、明治期から昭和期にかけて描かれた女性像と静物画を中心に展示しました。 常設展示では、新宿中村屋にゆかりのあった作家の彫刻作品を展示しました。 また、倉田三郎記念室では、旅先のスケッチから、北欧の風景を展示し、スケッチする際の参考としても観賞いただきました。	177,300	515 (421)
2	【平成30年度 後期】たましんコレクションより 日本近代絵画における画家と弟子たち 倉田三郎記念室 旅の素描－オランダ－	自主	9月 4日(火)～ 12月16日(日)  ※冬季休館: 12月17日(月)～ 2月18日(月)	たましんコレクションから、浅井忠と梅原龍三郎、藤島武二と伊原宇三郎など師と弟子の影響関係を比較できるよう展示を構成し、作品21点について展覧しました。 常設展示では、新宿中村屋にゆかりのあった作家の彫刻作品を展示しました。 また、倉田三郎記念室では、旅先のスケッチから、オランダの風景を展示しました。	290,900	759 (668)
2会期 合計					468,200	1,274 (1,089)

(2)たましんギャラリー

① たましんギャラリーの運営

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	入館者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明	
1	展覧会の開催	自主	通年 土・日・祝日開廊 23会期	多摩在住・在勤の作家やグループに展覧会場を提供し、23会期実施しました。	6,059

② たましんギャラリー利用の多様化策

1	若手作家の招致	自主	通年	若手作家の発掘や企画内容の検討を行い、青梅ビエンナーレ入選等の実績のある若手作家を誘致し、第2会期大浦雅臣展、第10会期武井地子展、第17会期平野健太郎展を開催しました。
2	多摩にある美術大学との連携	自主	通年	多摩地域にある美術大学(武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学)へアプローチをする中で、たましんギャラリーをご利用いただく若手作家を誘致しました。 その結果、武蔵野美術大学研究室推薦から、第6会期村山之都展、第12会期吉田ももこ展、また、女子美術大学日本画研究室の推薦より、第9会期女子美術大学日本画卒業生展を開催しました。

## (3) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	展覧会内容に応じた広報活動の実施	自主	通年	「関頑亭」展では、通常の周知活動に加え、作家関係先400件に広報物を送付するほか、国立市内及び都内、全国の作家ゆかりの美術館、ギャラリー、飲食店等18件へポスター掲示の依頼を行いました。夏季に開催した子ども対象の展覧会「おぼけ美術館」展では、多摩地域30市町村の小中学校のほか、新企画として未就学児(親子)対象のギャラリートークを実施することから、国立市のほか府中市、福生市の幼稚園、保育園や絵画教室へも併せて広報活動を行いました。「東洋古陶磁展」では都内・全国の陶芸専門美術館及びギャラリーに案内を配付し、周知しました。「倉田三郎展」では、多摩地域の文化施設や教育機関等に重点的に広報活動を行いました。
2	広報手段の拡充	自主	通年	各展覧会への来館促進を図るため、従来のポスター・案内はがき・チラシの送付、ホームページでの展覧会情報の公開に加え、地域向けメディアへの積極的アプローチや未利用の情報掲載可能なホームページへの情報発信を行い、広報手段の拡充を行いました。また、SNS等の活用など時流に合わせた広報活動の準備を進めました。
3	配布先拡大と効果の検証	自主	通年	ポスター・案内はがき・チラシの送付先を一律ではなく、展覧会の企画内容に応じて増加・変更し、広報の効率化を図りました。また来館者アンケートによる効果の検証を行いました。

## (4) 調査・研究

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	展覧会開催による多摩地域の作家紹介	自主	通年	作家研究を基礎とした展覧会として、第1会期では、郷土作家であり、当財団とも縁の深い彫刻家・関頑亭(1919-)についての白寿記念の企画展を開催しました。作家のアトリエや本人及び関係者からの聴き取り調査をはじめ、八戸市の洗心美術館や熱海市の澤田政廣記念美術館等への作品調査を実施し、借用先を選定しました。第4会期では、「所蔵資料公開」と題し、倉田三郎(1902-1992)について私物・書簡・画材・書籍・自筆原稿などの所蔵資料を通じ、作家の研究を深め、同時に広く公開する機会としました。また、継続して佐藤多持(1919-2004)の家族への聴き取り調査、アトリエ及び作品の調査を実施し、全作品の目録化を行い、展示内容を構成し、次年度の「生誕100年佐藤多持展」への準備を進めました。
2	作家研究・データベース構築	自主	通年	作家研究として、次年度の「生誕100年佐藤多持展」に向け、「参考資料目録」を作成し、関連資料及び掲載誌の一覧化・複写・保存を進めました。また、データベースソフトによる所蔵品データベースを作成し、新規収蔵作品の寸法・画像等のデータ入力を進め、財団所蔵品4,224件を整理し、作品管理の基礎構築を行いました。
3	作品・資料の収集	自主	通年	多摩地域の重要な作家の作品について体系的なコレクションを築くため、本年度は、画家・小貫政之助(1925-1988)の所蔵家の所蔵作品調査と選定を行い、寄贈受け入れの準備を進めました。また、作家に関連する図書及び美術関係書籍1,639点を収集・整理しました。
4	作品の修復及び額新装	自主	通年	次年度開催の「生誕100年佐藤多持展」にあわせ、所蔵作品12点の新規額装及びマット取付を行いました。また、平成29年度に寄贈を受けた小貫政之助の油彩画1点について新規額装及び低反射アクリルの取付を行いました。御岳美術館の倉田三郎記念室の展示にあわせ、スケッチ24点にマット取付を行いました。

## (5) 美術講座

## ① たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	参加者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明	
1	99歳の彫刻家・関頑亭 ―声字実相義 耳で見つめ、目で聴く― ギャラリートーク	自主	4月13日(金)	「99歳の彫刻家・関頑亭―声字実相義 耳で見つめ、目で聴く―」の作品解説	27
			4月21日(土)	同上(小学3年生以上対象)	7
			5月18日(金)	「99歳の彫刻家・関頑亭―声字実相義 耳で見つめ、目で聴く―」の作品解説	36
			6月2日(土)	同上(小学3年生以上対象)	3
			6月8日(金)	「99歳の彫刻家・関頑亭―声字実相義 耳で見つめ、目で聴く―」の作品解説	30
2	おばけ美術館 ギャラリートーク	自主	7月21日(土)	「おばけ美術館」の作品解説(未就学児対象)	27
			7月28日(土)	「おばけ美術館」の作品解説(小学生1～3年生対象)	34
			8月4日(土)	「おばけ美術館」の作品解説(小学生4～6年生対象)	29
			8月25日(土)	「おばけ美術館」の作品解説(中学生以上対象)	29
3	東洋古陶磁展 ギャラリートーク	自主	11月9日(金)	「東洋古陶磁展」の作品解説	10
4	所蔵資料公開【I】倉田三郎の美術 ギャラリートーク	自主	平成31年 1月25日(金)	「倉田三郎の美術」の作品解説	18

## ② 御岳美術館

1	スケッチ講座	自主	桜の日祭 4月10日(火) ・11日(水)	本取組は、開館10周年を記念してはじまり、来館者を対象に、4、8、11月の年3回実施している事業です。 今年度も、御岳溪谷の四季折々の風景とスケッチをお楽しみいただきました。  受付 午前10時～午後3時 参加費 入館料のみで参加可 画材 無料貸し出し	28
			倉田三郎生誕祭 8月21日(火) ・22日(水)		23
			開館記念祭 11月2日(金) ・3日(土・祝)		54

## (6) 地域との連携・交流

## ① 美術講演会

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	参加者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	美術講演会 (公財)くになち文化・スポーツ振興財団、 くになちギャラリーネットワークとの共催事業	共催	9月15日(土)	どこが凄いの？魅惑の若冲絵画 代表作『動植綵絵』全三十幅を読む 第1回 「魅惑の若冲絵画 代表作『動植綵絵』全三十幅を読む～①」 第2回 「魅惑の若冲絵画 代表作『動植綵絵』全三十幅を読む～②」 講師 斎藤陽一 (美術ジャーナリスト、美術史学会会員) 会場 くになち市民芸術小ホール 地下スタジオ 時間 各回 午後2時～午後4時	71
			9月23日(日)		62

② 地域連携企画

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明
1	展覧会事業における連携の準備	自主	通年	次年度開催「生誕100年 佐藤多持展」の展覧会内容の充実を図るため、代表的作品となる観音寺38面襖絵の特別公開の依頼、青梅市立美術館に所蔵作品の調査・連携展示内容の打合せを行いました。また、国立市内のギャラリー3館(画廊『岳』・ギャラリーコロ、ギャラリー国立、コート・ギャラリー)の代表者と打合せ、同時開催展の実施にあわせ、合同チラシを作成しました。同時開催展についての広報を積極的に行い、ギャラリー側は美術館のチラシ配布に協力するなど、展覧会の開催に向けた相互協力の体制を築きました。
2	地域との連携強化	自主	通年	くにたち郷土文化館、青梅市立美術館、府中市美術館等の学芸員との交流や、三多摩博物館協議会の研修会への参加、多摩美術大学、東京造形大学、武蔵野美術大学、女子美術大学への定期的な訪問による教授陣との情報交換等を行いました。これら美術大学と情報交換を行う中で、女子美術大学とは、学生の発表の場の提供を目的として、次年度に予定している展覧会の印刷物の作成を依頼することになりました。

③ 学校との連携

1	学校との連携	自主	通年	教育普及に関する研究会として、全国美術館会議の教育普及部会及び羽村市小中学校の図工美術専科の教員研修、羽村市立松林小学校の研究授業に参加しました。また、国立市内の小中学校の図工研究会や多摩地区図工美術研究会へ参加し、交流を深める中で、学校からの要望に応え、アウトリーチ(出張授業)を試みました。内容は、作品を原寸大に印刷し学校へ持参し、ワークシートを用いて行う鑑賞授業です。国立市立第八小学校の3・4年生99名の児童を対象に、全4回行いました。これを機に、今後の事業化に向けた検討も始めました。
---	--------	----	----	---

(7) その他の活動

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明
1	資料保存環境の整備	自主	通年	展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、文化財IPM(総合的有害生物管理)による定期的な害虫測定を行いました。また、寄贈を受けた小貫政之助作品の新規額装、スケッチ作品のマット取付、資料保存備品を購入し、資料を展示可能な状態へと整えました。また、収蔵庫環境整備について、東京文化財研究所(台東区)や消毒業者等の専門家のアドバイスを受け、収蔵庫の粉塵防除作業の準備に着手しました。
2	所蔵作品のポジフィルムのデータの整備	自主	通年	展覧会の図録作成、所蔵品目録の作成、所蔵品のデジタルアーカイブ化に向け、所蔵品ポジフィルムの整理を進めました。また、展覧会広報物作成にあわせポジフィルムのデータ化を行いました。

(8) 新美術館設置への対応

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明
1	新美術館設置への対応	自主	通年	多摩信用金庫の新本店建設に伴い開設が予定されている「たましん美術館(仮称)」について、展示室内及びバックヤードを整備するにあたり、多摩信用金庫および(株)乃村工藝社(港区)に協力し、対応しました。また、開館後に向けた準備として、八王子市夢美術館の元館長や町田市立国際版画美術館学芸課長、平塚市美術館館長などから、展覧会の企画内容、体制づくりなどの助言をいただく機会をつくりました。

2. 公2 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(1)『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	発行部数 (部)
	事業名	自主・共催	発行日	事業内容及び説明	
1	170号 「武蔵野”研究一〇〇年」	自主	5月15日(火)	平成29年11～12月、武蔵野会・武蔵野文化協会の創立100周年記念展が、たましん歴史・美術館で開催されました。 本号は記念展の展示内容をふまえて、“武蔵野”研究一〇〇年のあゆみを紹介しました。	14,000
2	171号 「奥多摩の山々に見る地球史」	自主	8月15日(水)	この30年あまりで研究の進んだプレートテクトニクス理論(付加体地質学)から奥多摩の山々の形成史を解説し、地質時代で分けた5つの山歩きコースを歩くなかで、沿道の植物や寺社なども味わいつつ、山の地質の成り立ちが理解できるよう、紹介しました。	14,000
3	172号 「武蔵武士団の盛衰」	自主	11月15日(木)	平安時代後期から鎌倉時代・室町時代にかけて活躍した武蔵国各地の同族的集団である武蔵武士団の盛衰を、考古学や板碑研究も交えて紹介しました。 本号は、平成29年度の歴史講座をもとに構成したものです。	14,000
4	173号 「多摩の団地」	自主	平成31年 2月15日(金)	高度経済成長期以降、多摩には多くの団地が建設されました。社会を反映したその建設思想の変化を踏まえ、住民たちが教育や高齢化問題などの改善にどう取り組んできたか、また古くからある地域社会に団地住民がどう取り込まれていったかなどを、紹介しました。	14,000

## (2) 歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計画項目			報 告	利用料 (円)	閲覧者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明		
1	歴史資料室の運営	自主	通年 (月・祝・年末年始を 除く)	平成30年度は、図書550冊、雑誌305冊、絵葉書31枚、地図11枚、チラシ8枚、ポスター116枚、合計1,021点を収集・整理しました。 今期末現在で図書26,435冊、雑誌15,114冊、絵葉書6,135枚、地図1,787枚、チラシ523枚、ポスター1,711枚を公開しています。	無料	閲覧者 用紙 記入者数 581
2	国土地理院発行の多色刷地形図の収集	自主	平成29～31年度	明治期から平成期にかけての2万5千分1地形図をはじめ、1万分1地形図と5万分1地形図、合計175点を3ヶ年計画で収集します。 2年目の平成30年度は、青梅以西の西多摩地域の2万5千分1地形図41点、多摩全域をカバーする5万分1地形図25点、計66点を購入しました。		

## (3) 多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計画項目			報 告	参加者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施日	事業内容及び説明	
1	第22回多摩の歴史講座(1～5講) 多摩の民俗芸能にふれる  募集人数100名 応募人数91名(全員当選)  (公財)東京市町村自治調査会多摩交流 センターとの共催事業	共催	9月21日(金)	「神楽がきた道～太々神楽と里神楽を中心に」 講師 久保田裕道氏(独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所 無形文化遺産部無形民俗文化財研究室長) 場所 多摩信用金庫府中支店4階会議室 時間 午後1時30分～午後3時30分	71
			10月5日(金)	「若松派誕生150年～説経節の継承と創造～」 講師 若松若太夫氏(説経節若松派三代目家元) 場所 多摩信用金庫府中支店4階会議室 時間 午後1時30分～午後3時30分	70
			10月19日(金)	「見学会『古典の素晴らしさ、未来を切り開く新作の楽しさを次世代に ～八王子車人形～』」 講師 西川古柳氏(八王子車人形西川古柳座五代目家元) 場所 八王子車人形西川古柳座稽古場(八王子市下恩方町1566) 時間 午後1時30分～午後3時30分	60
			11月2日(金)	「八王子・小津の獅子舞～天然理心流の流れをくむ太刀遣い～」 講師 山下正男氏(小津獅子舞太刀保存会会長) 場所 多摩信用金庫府中支店4階会議室 時間 午後1時30分～午後3時30分	60
			11月16日(金)	「庶民と共に生きる歌舞伎～郷土芸としての歌舞伎を伝える～」 講師 白禱山誠氏(秋川歌舞伎保存会あきる野座座長) 場所 多摩信用金庫府中支店4階会議室 時間 午後1時30分～午後3時30分	62

(4) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	東京都立多摩図書館(国分寺市)主催の「Old meets New東京 変わりゆく東京」展に協力して、写真パネル用画像の提供とギャラリートークを行いました。 また今年度も、立川市、多摩市等の市史や記念誌編さん委員として参加して、各市町村とのネットワークの強化を継続しています。

(5) 「多摩の金融史」関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	平成29年5月発行の『多摩のあゆみ』(166号)から「多摩の金融史」の連載がスタートして、本年度まで計8本の論考が掲載されました。 この間、貸倉庫(立川市)より多摩信用金庫武蔵野支店へ多摩中央信用金庫資料を移送して、移送資料一覧と概要目録を作成しました。また、立川信用組合の組合員名簿5冊を写真撮影して、内容分析を進めています。

(6) 広報・普及活動

① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開しました。 また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』で告知しました。

② 『歴史資料室所蔵資料』のデジタルアーカイブ化

1	歴史資料室資料のデジタルアーカイブ化	自主	通年	昨年度の『多摩のあゆみ』バックナンバー(創刊号～第100号)に引き続き、歴史資料室所蔵の絵図・地図16点とチラシ23点の計39点をデジタルアーカイブで公開しました。 TRC-ADEAC(株)(文京区)のデジタルアーカイブシステムに、全国92機関(図書館・博物館・大学など)とともに公開して、どなたでも閲覧できます。 本年度(平成30年4月～31年3月)の総アクセス数は、164,190pv <sup>(※)</sup> です。*pv(page view):ページへのアクセス数の単位。
---	--------------------	----	----	--

収益事業

3. 収1 物品販売及び喫茶事業

(定款 第4条第1項第9号)

(1) 物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	売上高(円)										
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明											
1	物品販売事業	自主	通年	たましん歴史・美術館ではオリジナル絵はがきの販売、御岳美術館ではオリジナル絵はがきの販売及び、多摩の作家の陶器、染物等みやげ品の委託販売をしました。	<table border="0"> <tr> <td>絵はがき</td> <td></td> </tr> <tr> <td>/国立</td> <td>61,800</td> </tr> <tr> <td>/御岳</td> <td>11,200</td> </tr> <tr> <td>みやげ品</td> <td>76,680</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>149,680</td> </tr> </table>	絵はがき		/国立	61,800	/御岳	11,200	みやげ品	76,680	合計	149,680
絵はがき															
/国立	61,800														
/御岳	11,200														
みやげ品	76,680														
合計	149,680														

(2) 喫茶事業

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	売上高(円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	喫茶事業	自主	通年	御岳美術館で、コーヒー、紅茶、ジュース等飲み物を300円で提供しました。	59,700

### 3. 管理

#### 役員等及び役員会等に関する事項

##### 1. 評議員、理事及び監事の名簿

##### ①評議員

(平成31年3月31日現在)

役職名	氏 名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
評議員	さいとう しんいち 齋藤 慎一	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	武蔵御嶽神社及び御師家古 文書学術調査団 委員
〃	うただ しんすけ 歌田 眞介	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	東京藝術大学 名誉教授
〃	おかの のりよ 岡野 法世	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	陶芸家
〃	つくだ けんすけ 佃 堅輔	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	美術評論家 法政大学 名誉教授
〃	こまつ きん 小松 欽	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	画家
〃	さかづめ ひでいち 坂詰 秀一	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	立正大学 名誉教授
〃	おまた かつとし 小俣 勝俊	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫 専務理事

②理事

(平成31年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
理事長	やぎ 八木 としろう 敏郎	平成30年6月4日から平成32年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫 理事長
理事	おがわ 小川 とみちか 富史	平成30年6月4日から平成32年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	有限会社 吉不動産 代表取締役
〃	かわぐち 川口 てつお 哲生	平成30年6月4日から平成32年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	株式会社 川口商店 代表取締役
〃	むらの 村野 やすなり 安成	平成30年6月4日から平成32年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	合名会社 村野醸造所 代表社員
〃	わいた 和井田 けいこ 慶子	平成30年6月4日から平成32年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	岩崎ビルディング株式会社 監査役
〃	ばば 馬場 けんいち 憲一	平成30年6月4日から平成32年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	法政大学 名誉教授
〃	わたひき 綿引 こうじ 康司	平成30年6月4日から平成32年6月開催の定時評議員会まで	常勤	公益財団法人 立川市地域文化振興財団 理事(非常勤)

②監事

(平成31年3月31日現在)

監事	なかの 中野 たかみち 隆石	平成30年6月4日から平成32年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	NPO法人立川教育振興会 理事長
〃	おざわ 小澤 のぶあき 伸光	平成30年6月4日から平成32年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	公認会計士・税理士

2. 評議員会、理事会に関する事項

(1) 会議開催の状況

① 評議員会

開会年月日	件名	会議結果
平成30年6月19日 (定時)	第1号議案 「平成29年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認」について	可 決
	第2号議案 理事の選任について	可 決
	第3号議案 監事の選任について	可 決
	第4号議案 「公益財団法人たましん地域文化財団の役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程」の改正について	可 決
	報告事項① 「平成29年度事業報告及び附属明細書」について	—
	報告事項② 基本財産公社債の満期償還に伴う、多摩信用金庫出資金の購入について	—
	報告事項③ 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項④ 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—
平成30年11月14日 (第2回)	第1号議案 理事1名の追加選任について	可 決
平成31年3月19日 (第3回)	第1号議案 平成31年度事業計画(案)について	可 決
	第2号議案 平成31年度収支予算(案)について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—

②理事会

開会年月日	件名	会議結果
平成30年6月4日 (第1回)	第1号議案 「平成29年度事業報告及び附属明細書の承認」について	可 決
	第2号議案 「平成29年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認」について	可 決
	第3号議案 「公益財団法人たましん地域文化財団の役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程」の改正について	可 決
	第4号議案 基本財産公社債の満期償還に伴う、多摩信用金庫出資金の購入について	可 決
	第5号議案 平成30年度定時評議員会の招集について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—
平成30年6月19日 (第2回)	第1号議案 代表理事1名選定の件	可 決
	第2号議案 業務執行理事1名選定の件	可 決
	第3号議案 重要な使用人(館長)選任の件	可 決
平成30年10月31日 (第3回)	第1号議案 平成30年度第2回評議員会の招集について	可 決
平成30年11月14日 (第4回)	第1号議案 評議員の本理事会へのオブザーバー参加について	可 決
	第2号議案 多摩信用金庫新本店美術館設置に伴う、当財団の体制について	可 決
	第3号議案 「御岳美術館」の閉館時期について	可 決
	第4号議案 「就業規則等」の一部改正について	可 決
	第5号議案 「運営委託契約」(たましんギャラリー)の「覚書」追加締結について	可 決
	第6号議案 「武蔵野収蔵庫」に係る多摩信用金庫との「使用貸借契約」の締結について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
報告事項② 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—	
平成31年3月5日 (第5回)	第1号議案 平成31年度 事業計画(案)について	可 決
	第2号議案 平成31年度 収支予算(案)について	可 決
	第3号議案 基本財産定期預金の満期到来に伴う多摩信用金庫出資金の購入について	可 決
	第4号議案 平成30年度第3回評議員会の招集について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—

#### 4. 附属明細書

##### 1. たましん歴史・美術館実績一覧

開館月	開館日数 (日)	入館者数 (人)	入館者数		一日平均(人)
			(有料)	(招待)	
平成30年 4月	26	896	587	309	34.5
5月	27	675	423	252	25.0
6月	26	1,033	620	413	39.7
7月	14	1,167	669	498	83.4
8月	26	2,244	1,204	1,040	86.3
9月	14	861	521	340	61.5
10月	26	359	272	87	13.8
11月	24	403	307	96	16.8
12月	8	217	182	35	27.1
平成31年 1月	21	476	373	103	22.7
2月	24	759	637	122	31.6
3月	9	265	214	51	29.4
合 計	245	9,355	6,009	3,346	38.2

企画展覧会	会 期	開館 日数 (日)	入館料 (円)	入館者 数 (人)	入館者数		一日 平均 (人)
					(有料)	(招待)	
99歳の彫刻家・関頑亭	3月27日～7月1日	85	300	3,094	(1,906)	(1,188)	36.4
おばけ美術館	7月17日～9月9日	47	100	4,021	(2,245)	(1,776)	85.6
東洋古陶磁展	9月25日～12月9日	64	100	1,066	(816)	(250)	16.7
倉田三郎の美術	1月8日～3月10日	54	100	1,500	(1,224)	(276)	27.8
合 計		250		9,681	(6,191)	(3,490)	38.7

2. 御岳美術館実績一覧

開館月		開館日数 (日)	入館者数 (人)	入館者数		一日平均(人)
				有料(人)	招待(人)	
平成30年	4月	26	239	189	50	9.2
	5月	11	196	165	31	17.8
	6月	23	91	54	37	4.0
	7月	26	169	146	23	6.5
	8月	23	255	221	34	11.1
	9月	24	141	125	16	5.9
	10月	26	159	144	15	6.1
	11月	26	414	358	56	15.9
	12月	14	45	41	4	3.2
平成31年	1月	0	0	0	0	0.0
	2月	9	56	47	9	6.2
	3月	27	64	47	17	2.4
合 計		235	1,829	1,537	292	7.8

企画展覧会	会 期	開館 日数 (日)	入館料 (円)	入館者 数 (人)	入館者数		一日 平均 (人)
					(有料)	(招待)	
儂さと美～絵のなかの花と女～ 倉田三郎記念室 旅の素描 —北欧—	6月5日～8月26日	72	500	515	( 421 )	( 94 )	7.2
日本近代絵画における 画家と弟子たち 倉田三郎記念室 旅の素描 —オランダ—	9月4日～12月16日	90	500	759	( 668 )	( 91 )	8.4
合 計		162		1,274	( 1,089 )	( 185 )	7.9

### 3. たましんギャラリー展覧会名及び来場者数

多摩地域在住・在勤の作家やグループに、たましんギャラリーを展示会場として無償で提供しており、平成30年度は23会期の展示を実施しました。詳細は以下のとおりです。

展覧会名	会 期	来場者数(人)
1. 浜田澄子展	4月5日～4月17日	252
2. 大浦雅臣展	5月10日～5月22日	242
3. 齋藤鐵心展	5月24日～6月5日	196
4. 大塩英生展・桃丘2人展	6月7日～6月19日	229
5. 飯田秀夫展	6月21日～7月3日	270
6. 村山之都展	7月5日～7月17日	170
7. 東京展 多摩地区展	7月19日～7月31日	338
8. 工藤眞詞展	8月2日～8月14日	272
9. 女子美術大学 日本画卒業生展	8月16日～8月28日	276
10. 武井地子展	8月30日～9月11日	151
11. 大友洋司展	9月13日～9月25日	264
12. 吉田ももこ展	9月27日～10月9日	198
13. 増田常德展	10月11日～10月23日	361
14. 海野次郎展	10月25日～11月6日	279
15. 原田武眞展	11月8日～11月20日	301
16. 大平奨展	11月22日～12月4日	228
17. 平野健太郎展	12月6日～12月18日	242
18. たましんコレクション展	平成31年1月10日～1月22日	184
19. 野上邦彦展	1月24日～2月5日	248
20. 松木義三展	2月7日～2月19日	349
21. 修羅譜展(前期)	2月21日～3月5日	430
22. 修羅譜展(後期)	3月7日～3月19日	362
23. 佐藤梨香展	3月21日～4月2日	217
来場者合計		6,059

## 4. 職員に関する事項

平成31年3月31日現在

	職務	氏名	役職就任年月日	担当業務	備考
	館長	綿引 康司	平成27年6月15日	財団運営の統括	常勤
事務局	事務局長	木下 茂	平成22年1月20日	財団事務の統括	常勤
		箕輪 和代	—	財団事務	常勤
		大石 悠加	—	財団事務	常勤
		佐々木 美知子	—	財団事務	非常勤
		川上 泰弘	—	財団事務	非常勤
歴史資料室	室長	保坂 一房	平成20年4月1日	郷土誌編集・歴史資料の整理	常勤
	係長	坂田 宏之	平成23年4年1日	郷土誌編集・歴史資料の整理	常勤
		宮崎 紀子	—	歴史資料の整理	非常勤
		岩崎 冴子	—	歴史資料の整理	非常勤
美術資料室	主任	杉本 藍	平成30年4月1日	美術館・ギャラリー関係 学芸員	常勤
	主任	藤森 梨衣	平成30年4月1日	美術館・ギャラリー関係 学芸員	常勤
		中澤 富士雄	—	美術館・ギャラリー関係 学芸員	非常勤
		関口 利枝	—	ギャラリー事務	非常勤
		大野 好美	—	美術館事務	非常勤
		衛藤 愛子	—	美術館事務	非常勤
		須藤 好	—	美術館事務	非常勤
御岳美術館		森谷 隆男	—	美術館事務	非常勤
		酒井 まつ子	—	美術館事務	非常勤
		小峰 むつ子	—	美術館事務	非常勤
		杉山 芳枝	—	美術館事務	非常勤
		斉藤 良美	—	美術館事務	非常勤

## 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	708,100	785,952	△ 77,852
預金			
現金	708,100	785,952	△ 77,852
普通預金	14,259,893	15,314,251	△ 1,054,358
定期預金	9,459,893	11,714,251	△ 2,254,358
定期積金	3,600,000	2,400,000	1,200,000
棚卸資産	1,200,000	1,200,000	0
前払費用	2,453,295	2,500,873	△ 47,578
未収金	109,360	148,960	△ 39,600
未収金	9,920	7,261	2,659
流動資産合計	17,540,568	18,757,297	△ 1,216,729
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	80,000,000	180,000,000	△ 100,000,000
公社債	0	100,000,000	△ 100,000,000
出資金	230,000,000	30,000,000	200,000,000
美術品(基本)	519,218,100	519,218,100	0
不動産(土地)	21,169,345	21,169,345	0
不動産(建物)	3,868,469	4,293,528	△ 425,059
基本財産合計	854,255,914	854,680,973	△ 425,059
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	5,270,000	4,780,000	490,000
修繕引当資産	24,410,000	24,410,000	0
特定資産合計	29,680,000	29,190,000	490,000
(3) その他の固定資産			
電話加入権	291,200	291,200	0
什器備品	1,156,425	798,611	357,814
ソフトウェア	1	1	0
美術品(その他)	280,000	280,000	0
その他固定資産合計	1,727,626	1,369,812	357,814
固定資産合計	885,663,540	885,240,785	422,755
資産の部合計	903,204,108	903,998,082	△ 793,974
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	606,505	445,407	161,098
未払金	2,385,088	1,481,849	903,239
賞与引当金	980,000	980,000	0
流動負債合計	3,971,593	2,907,256	1,064,337
2 固定負債			
退職給付引当金	5,270,000	4,780,000	490,000
固定負債合計	5,270,000	4,780,000	490,000
負債の部合計	9,241,593	7,687,256	1,554,337
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	844,255,914	844,680,973	△ 425,059
(うち基本財産への充当額)	( 844,255,914 )	( 844,680,973 )	( △ 425,059 )
2 一般正味財産	49,706,601	51,629,853	△ 1,923,252
(うち基本財産への充当額)	( 10,000,000 )	( 10,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 24,410,000 )	( 24,410,000 )	( 0 )
正味財産の部合計	893,962,515	896,310,826	△ 2,348,311
負債及び正味財産合計	903,204,108	903,998,082	△ 793,974

## 正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	730,651	1,213,000	△482,349
基本財産運用益	130,651	313,000	△182,349
基本財産受取配当金	600,000	900,000	△300,000
特定資産運用益	2,919	5,765	△2,846
特定資産運用益	2,919	5,765	△2,846
固定資産受贈益	425,059	491,764	△66,705
固定資産受贈益	0	20,000	△20,000
固定資産受贈益振替分	425,059	471,764	△46,705
事業収益	1,999,757	1,454,908	544,849
入館料収益	1,608,700	1,158,800	449,900
図録販売収益	148,000	51,000	97,000
出版事業収益	33,677	42,448	△8,771
喫茶事業収益	59,700	70,050	△10,350
物品販売収益	149,680	132,610	17,070
受取寄付金	60,000,000	60,000,000	0
受取寄付金	60,000,000	60,000,000	0
雑収益	254,719	300,799	△46,080
受取利息	3,062	3,125	△63
雑収益	251,657	297,674	△46,017
経常収益計	63,413,105	63,466,236	△53,131
(2) 経常費用			
事業費	61,225,494	59,122,030	2,103,464
売上原価	47,578	41,852	5,726
給料手当	16,316,876	15,493,450	823,426
臨時雇賃金	8,229,735	7,957,549	272,186
賞与引当金繰入	980,000	980,000	0
退職給付費用	490,000	340,000	150,000
法定福利費	2,915,139	2,686,585	228,554
福利厚生費	472,713	304,542	168,171
旅費交通費	1,378,222	1,235,736	142,486
通信運搬費	2,246,055	2,082,229	163,826
減価償却費	883,086	910,258	△27,172
消耗什器備品費	1,069,333	289,744	779,589
消耗品費	1,351,400	1,265,855	85,545
修繕費	96,999	166,730	△69,731
印刷製本費	9,124,921	9,747,571	△622,650
燃料費	43,683	35,685	7,998
光熱水料費	2,001,249	2,026,563	△25,314
賃借料	2,497,448	2,477,947	19,501
保険料	1,048,157	1,028,930	19,227
諸謝金	928,447	940,362	△11,915
保守管理費	1,770,400	1,770,400	0
会議費	146,295	92,753	53,542
支払負担金	100,000	200,000	△100,000
図書費	486,902	687,597	△200,695
委託費	6,182,834	5,867,614	315,220
研修費	5,500	57,639	△52,139
宣伝費	59,000	10,000	49,000
仕入費	82,074	104,139	△22,065

## 正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
諸会費	265,800	310,900	△45,100
雑費	5,648	9,400	△3,752
管理費	4,040,863	4,021,334	19,529
役員報酬	550,720	448,200	102,520
給料手当	480,000	480,000	0
臨時雇賃金	0	136,320	△136,320
法定福利費	83,403	63,109	20,294
福利厚生費	91,796	85,442	6,354
会議費	325,979	414,106	△88,127
旅費交通費	129,339	94,485	34,854
通信運搬費	309,791	273,093	36,698
減価償却費	68,571	103,851	△35,280
消耗什器備品費	69,761	82,642	△12,881
消耗品費	379,059	333,242	45,817
修繕費	23,416	15,992	7,424
印刷製本費	42,095	23,707	18,388
燃料費	10,916	8,918	1,998
光熱水料費	72,000	72,000	0
賃借料	227,351	254,596	△27,245
保険料	3,113	17,240	△14,127
租税公課	1,600	75,600	△74,000
保守管理費	72,000	72,000	0
図書費	4,400	0	4,400
研修費	29,800	35,360	△5,560
交際費	250,076	167,793	82,283
委託費	450,601	375,794	74,807
諸会費	362,780	384,780	△22,000
雑費	2,296	3,064	△768
経常費用計	65,266,357	63,143,364	2,122,993
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,853,252	322,872	△2,176,124
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,853,252	322,872	△2,176,124
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額	△1,923,252	322,872	△2,246,124
一般正味財産期首残高	51,629,853	51,306,981	322,872
一般正味財産期末残高	49,706,601	51,629,853	△1,923,252
II 指定正味財産増減の部			
出資金(指定)	200,000,000	0	200,000,000
公社債(指定)	△100,000,000	0	△100,000,000
定期預金(指定)	△100,000,000	0	△100,000,000
一般正味財産への振替額	425,059	471,764	△46,705
一般正味財産への振替額	425,059	471,764	△46,705
当期指定正味財産増減額	△425,059	△471,764	46,705
指定正味財産期首残高	844,680,973	845,152,737	△471,764
指定正味財産期末残高	844,255,914	844,680,973	△425,059
III 正味財産期末残高	893,962,515	896,310,826	△2,348,311

正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位: 円)

勘定科目	公益目的事業会計				収益事業会計 収1	法人会計	合計
	公1	公2	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	730,651	730,651	0	0	730,651
基本財産運用益	0	0	130,651	130,651	0	0	130,651
基本財産受取配当金	0	0	600,000	600,000	0	0	600,000
特定資産運用益	0	0	2,919	2,919	0	0	2,919
特定資産運用益	0	0	2,919	2,919	0	0	2,919
固定資産受贈益	399,556	0	0	399,556	25,503	0	425,059
固定資産受贈益振替分	399,556	0	0	399,556	25,503	0	425,059
事業収益	1,756,700	33,677	0	1,790,377	209,380	0	1,999,757
入館料収益	1,608,700	0	0	1,608,700	0	0	1,608,700
図録販売収益	148,000	0	0	148,000	0	0	148,000
出版事業収益	0	33,677	0	33,677	0	0	33,677
喫茶事業収益	0	0	0	0	59,700	0	59,700
物品販売収益	0	0	0	0	149,680	0	149,680
受取寄付金	0	0	57,500,000	57,500,000	0	2,500,000	60,000,000
受取寄付金	0	0	57,500,000	57,500,000	0	2,500,000	60,000,000
雑収益	24,715	23,600	53,502	101,817	0	152,902	254,719
受取利息	0	0	3,062	3,062	0	0	3,062
雑収益	24,715	23,600	50,440	98,755	0	152,902	251,657
経常収益計	2,180,971	57,277	58,287,072	60,525,320	234,883	2,652,902	63,413,105
(2) 経常費用							
事業費	33,602,486	27,349,006	0	60,951,492	274,002	0	61,225,494
売上原価	2	17,390	0	17,392	30,186	0	47,578
給料手当	7,441,636	8,875,240	0	16,316,876	0	0	16,316,876
臨時雇賃金	6,497,405	1,646,254	0	8,143,659	86,076	0	8,229,735
賞与引当金繰入	540,000	440,000	0	980,000	0	0	980,000
退職給付費用	200,000	290,000	0	490,000	0	0	490,000
法定福利費	1,306,895	1,608,244	0	2,915,139	0	0	2,915,139
福利厚生費	278,812	193,901	0	472,713	0	0	472,713
旅費交通費	1,045,696	332,526	0	1,378,222	0	0	1,378,222
通信運搬費	962,498	1,283,557	0	2,246,055	0	0	2,246,055
減価償却費	761,397	96,186	0	857,583	25,503	0	883,086
消耗什器備品費	770,430	298,903	0	1,069,333	0	0	1,069,333
消耗品費	919,718	431,682	0	1,351,400	0	0	1,351,400
修繕費	69,654	27,345	0	96,999	0	0	96,999
印刷製本費	1,329,576	7,795,345	0	9,124,921	0	0	9,124,921
燃料費	30,035	13,648	0	43,683	0	0	43,683
光熱水料費	1,769,943	206,000	0	1,975,943	25,306	0	2,001,249
賃借料	2,107,450	370,141	0	2,477,591	19,857	0	2,497,448
保険料	1,045,612	2,545	0	1,048,157	0	0	1,048,157
諸謝金	0	928,447	0	928,447	0	0	928,447
保守管理費	1,559,400	206,000	0	1,765,400	5,000	0	1,770,400
会議費	62,615	83,680	0	146,295	0	0	146,295
支払負担金	100,000	0	0	100,000	0	0	100,000
図書費	32,240	454,662	0	486,902	0	0	486,902
委託費	4,607,772	1,575,062	0	6,182,834	0	0	6,182,834
研修費	5,500	0	0	5,500	0	0	5,500
宣伝費	59,000	0	0	59,000	0	0	59,000
仕入費	0	0	0	0	82,074	0	82,074
諸会費	94,200	171,600	0	265,800	0	0	265,800
雑費	5,000	648	0	5,648	0	0	5,648
管理費	0	0	0	0	0	4,040,863	4,040,863
役員報酬	0	0	0	0	0	550,720	550,720
給料手当	0	0	0	0	0	480,000	480,000
法定福利費	0	0	0	0	0	83,403	83,403
福利厚生費	0	0	0	0	0	91,796	91,796
会議費	0	0	0	0	0	325,979	325,979
旅費交通費	0	0	0	0	0	129,339	129,339
通信運搬費	0	0	0	0	0	309,791	309,791
減価償却費	0	0	0	0	0	68,571	68,571
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	69,761	69,761
消耗品費	0	0	0	0	0	379,059	379,059
修繕費	0	0	0	0	0	23,416	23,416
印刷製本費	0	0	0	0	0	42,095	42,095
燃料費	0	0	0	0	0	10,916	10,916
光熱水料費	0	0	0	0	0	72,000	72,000
賃借料	0	0	0	0	0	227,351	227,351
保険料	0	0	0	0	0	3,113	3,113
租税公課	0	0	0	0	0	1,600	1,600
保守管理費	0	0	0	0	0	72,000	72,000
図書費	0	0	0	0	0	4,400	4,400
研修費	0	0	0	0	0	29,800	29,800
交際費	0	0	0	0	0	250,076	250,076
委託費	0	0	0	0	0	450,601	450,601
諸会費	0	0	0	0	0	362,780	362,780

正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位:円)

勘定科目	公益目的事業会計				収益事業会計	法人会計	合計
	公1	公2	共通	小計	収1		
雑費	0	0	0	0	0	2,296	2,296
経常費用計	33,602,486	27,349,006	0	60,951,492	274,002	4,040,863	65,266,357
評価損益等調整前当期経常増減額	△31,421,515	△27,291,729	58,287,072	△426,172	△39,119	△1,387,961	△1,853,252
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△31,421,515	△27,291,729	58,287,072	△426,172	△39,119	△1,387,961	△1,853,252
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額	△31,421,515	△27,291,729	58,287,072	△426,172	△109,119	△1,387,961	△1,923,252
一般正味財産期首残高	△147,730,370	△176,710,831	364,270,209	39,829,008	2,160,878	9,639,967	51,629,853
一般正味財産期末残高	△179,151,885	△204,002,560	422,557,281	39,402,836	2,051,759	8,252,006	49,706,601
II 指定正味財産増減の部							
出資金(指定)	0	0	200,000,000	200,000,000	0	0	200,000,000
公社債(指定)	0	0	△100,000,000	△100,000,000	0	0	△100,000,000
定期預金(指定)	0	0	△100,000,000	△100,000,000	0	0	△100,000,000
一般正味財産への振替額	399,556	0	0	399,556	25,503	0	425,059
一般正味財産への振替額	399,556	0	0	399,556	25,503	0	425,059
当期指定正味財産増減額	△399,556	0	0	△399,556	△25,503	0	△425,059
指定正味財産期首残高	543,153,198	0	300,000,000	843,153,198	1,527,775	0	844,680,973
指定正味財産期末残高	542,753,642	0	300,000,000	842,753,642	1,502,272	0	844,255,914
III 正味財産期末残高	363,601,757	△204,002,560	722,557,281	882,156,478	3,554,031	8,252,006	893,962,515

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

その他有価証券（時価のないもの）……取得原価によっている。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

建物と什器備品及びソフトウェア……定率法によっている。

#### (4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額の相当額を計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理……税込み方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	180,000,000	0	100,000,000	80,000,000
公社債（日本政策金融公庫債）	100,000,000	0	100,000,000	0
出資金（多摩信用金庫）	30,000,000	200,000,000	0	230,000,000
美術品	519,218,100	0	0	519,218,100
土地	21,169,345	0	0	21,169,345
建物	4,293,528	0	425,059	3,868,469
小 計	854,680,973	200,000,000	200,425,059	854,255,914
特定資産				
退職給付引当資産	4,780,000	490,000	0	5,270,000
修繕引当資産	24,410,000	0	0	24,410,000
小 計	29,190,000	490,000	0	29,680,000
合 計	883,870,973	200,490,000	200,425,059	883,935,914

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	80,000,000	( 70,000,000)	( 10,000,000)	( 0)
出資金 (多摩信用金庫)	230,000,000	( 230,000,000)	( 0)	( 0)
美術品	519,218,100	( 519,218,100)	( 0)	( 0)
土地	21,169,345	( 21,169,345)	( 0)	( 0)
建物	3,868,469	( 3,868,469)	( 0)	( 0)
小 計	854,255,914	( 844,255,914)	( 10,000,000)	( 0)
特定資産				
退職給付引当資産	5,270,000	( 0)	( 0)	( 5,270,000)
修繕引当資産	24,410,000	( 0)	( 24,410,000)	( 0)
小 計	29,680,000	( 0)	( 24,410,000)	( 5,270,000)
合 計	883,935,914	( 844,255,914)	( 34,410,000)	( 5,270,000)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

建物と什器備品及びソフトウェアの減価償却を実施した。

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物	55,140,074	51,271,605	3,868,469
什器備品	3,965,880	2,809,455	1,156,425
ソフトウェア	509,250	509,249	1
合 計	59,615,204	54,590,309	5,024,895

#### 1 1. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

該当なし

### 6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	425,059
合 計	425,059

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略している。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	980,000	980,000	980,000	0	980,000
退職給付引当金	4,780,000	490,000	0	0	5,270,000

## 財 産 目 録

平成31年 3月31日 現在

(単位: 円)

借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金	手元保管	運転資金 690,000円である。	708,100
現金	御岳美術館 売上金	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での入館料収入 13,800円である。 収1 [物品販売及び喫茶事業]の売上金4,300円である。	708,100
預金			14,259,893
普通預金			9,459,893
多摩信用金庫国立支店	多摩信用金庫国立支店 普通預金	運転資金として	4,429,776
青梅信用金庫中町支店	青梅信用金庫中町支店 普通預金	運転資金として	5,030,117
定期預金			3,600,000
青梅信用金庫中町支店	青梅信用金庫中町支店 定期預金	運転資金として	3,600,000
定期積金			1,200,000
青梅信用金庫中町支店	青梅信用金庫中町支店 定期積金	運転資金として	1,200,000
棚卸資産			2,453,295
書籍	たましん歴史・美術館、御岳美術館	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での図録販売と、 公2 [『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での出版事業の在庫である。	715,125
絵はがき	たましん歴史・美術館、御岳美術館	収1 [物品販売及び喫茶事業]の在庫である。	1,353,170
テレホンカード	御岳美術館	収1 [物品販売及び喫茶事業]の在庫である。	385,000
前払費用	全国公益法人協会 多摩新興 (株)	法人の管理運営の用に関わる会費である。 45,360円 公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での御岳美術館の入館者のための傷害保険料である。 64,000円	109,360
未収金	地方小出版流通センターほか	公2 [『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での出版事業の売上代金である。	9,920
<b>流動資産合計</b>			<b>17,540,568</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>基本財産</b>			
定期預金	多摩信用金庫国立支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用している。	80,000,000
出資金	多摩信用金庫出資金	同上	230,000,000
美術品 (基本)	御岳美術館、武蔵野收藏庫、国立收藏庫 全3,815点。	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴史・美術館」「御岳美術館」における展示に使用している。	519,218,100
不動産(土地)	青梅市御岳本町1-1 434.08㎡ 同所同番6 57.91㎡ 合計 491.99㎡	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での「御岳美術館」の美術館用地である。 美術館建物延べ床面積のうち94%が美術館、6%が収益事業である喫茶・物品販売事業の用に供しているため、同じ比率で按分している。	21,169,345
不動産(建物)	青梅市御岳本町1-1及び1-6 木・鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ銅版 ぶき3階建て 1階 83.16㎡ 2階 230.59㎡ 3階 142.43㎡ 合計 456.18㎡	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での「御岳美術館」の美術館用地である。 美術館建物延べ床面積のうち94%が美術館、6%が収益事業である喫茶・物品販売事業の用に供しているため、同じ比率で按分している。	3,868,469
特定資産			
退職給付引当資産	多摩信用金庫国立支店 定期預金	退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	5,270,000
修繕引当資産	青梅信用金庫中町支店 定期預金	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での「御岳美術館」建物にかかる修繕の財源として管理している。	24,410,000
その他固定資産			
電話加入権	042-574-1360他3回線	公益目的保有財産である。	291,200
什器備品	パソコン、エアコンほか	(共用財産) 公益目的保有財産及び、公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産である。 法人の管理運営の用に供している財産である。	1,156,425
ソフトウェア	会計ソフト	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴史・美術館」「御岳美術館」における展示に使用している。	1
美術品 (その他)	国立收藏庫 全28点		280,000
<b>固定資産合計</b>			<b>885,663,540</b>
<b>資産合計</b>			<b>903,204,108</b>
<b>(流動負債)</b>			
預り金	職員	源泉所得税。 97,920円 社会保険料2、3月分。 404,870円 地方税 (住民税)。 47,600円 昼食代。 15,275円	606,505
未払金	平野昌太郎 (株) ダスキン  (株) エムビーエー  エムワイウェブ (株)  NTTファイナンス (株)  セコム (株)  (株) 田辺石油商会	源泉徴収税。 40,840円 公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]でのリース代金 (賃借料) である。 7,344円 公2 [『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での図書管理システム使用料に関する委託費である。 41,040円 公益目的事業及び管理目的の業務の用に供するインターネットウェブサイトの更新料金 (委託費) である。 75,600円 公益目的事業及び管理目的の業務の用に供する電話料金 (通信運搬費) である。 76,095円 公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での警備保守代金 (保守管理費) である。 210,600円 公益目的事業及び管理目的の業務の用に供する財団車の	2,385,088

## 財 産 目 録

平成31年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
	(株) サンテック	ガソリン代 (燃料費) である。 4,602円	
	富永慎一	収益目的の業務の用に供する御岳美術館のみやげ品仕入代金 (仕入費) である。 840円	
	加藤進一	収益目的の業務の用に供する御岳美術館のみやげ品仕入代金 (仕入費) である。 2,100円	
	鈴藏	収益目的の業務の用に供する御岳美術館のみやげ品仕入代金 (仕入費) である。 2,310円	
	タキヤ (株)	収益目的の業務の用に供する御岳美術館のみやげ品仕入代金 (仕入費) である。 560円	
	(株) 川口商店	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業] での展示用備品代金 (消耗什器備品費) である。 154,083円	
	(株) オーレ	公益目的事業及び管理目的の業務の用に供する財団車の修繕代金 (修繕費) である。 8,981円	
	平野昌太郎	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業] での展示用パネル代 (消耗品費) である。 6,847円	
	平野昌太郎	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業] での展示会デザイン代金 (委託費) である。 359,160円	
	平野昌太郎	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業] での展示用印刷物代金 (印刷製本費) である。 88,313円	
	美術工房シバタ	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業] での展示作品の搬出入代 (委託費) である。 73,440円	
	(株) ギャラリーステーション	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業] での展示会広告代金 (宣伝費) である。 54,000円	
	職員	公益目的事業及び収益目的の業務に従事する職員の3月分の賃金である。 767,802円	
	職員	公益目的事業及び収益目的の業務に従事する職員の3月分の食事代補助費である。 16,100円	
	職員	公益目的事業及び収益目的の業務に従事する職員の3月分の交通費である。 54,822円	
	職員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の3月分の出張旅費精算金である。 23,869円	
	社会保険料	社会保険料の事業者負担分 (法定福利費) 2、3月分である。 356,580円	
	賞与引当金	職員 公益目的事業に従事する職員に対する賞与の支払いに備えたものである。	980,000
流動負債合計			3,971,593
(固定負債)	退職給付引当金	職員 公益目的事業に従事する職員に対する退職金の支払いに備えたものである。	5,270,000
固定負債合計			5,270,000
負債合計			9,241,593
正味財産			893,962,515